

最終報告書の詳細

インターン先

村林聡議員事務所インターン生

所属

三重大学 1年

1. 自分が目にした議員の想い

1. 説明文

「議員が大事にしている価値観や理念」「どのような想いに基づいて議員は活動しているのか」といった議員の人となりについて自分なりに振り返りましょう。また、「議員自身から何を感じ、何を学んだか」を振り返りましょう。

【項目の狙い】

議員インターンシップの一番の特徴は、「議員や議員を支える方々と出会えること」です。議員は、地域や日本をよりよくするために行動している方々です。

私たちドットジェイピーは、「自らを変え、世の中を変えていく人」を JAPAN PRODUCER を呼んでいます。議員はその象徴であると考えています。議員の軸や想いを考えることで、自分自身の生き方や、価値観をさらに醸成する狙いがあります。

1. 記述欄

南伊勢でのインターンシップを通して、村林議員は住民にとって居心地良いと思える南伊勢をいつまでも残したいという想いをとても大事にされている方であると感じました。人口流出の問題や小規模高校の存続などに積極的に取り組んでおり、その全ての根本にあるものは「南伊勢という故郷を守りたい」という想いであるとわかったとき、私自身も自分の故郷で育つ・生活できることの大切さについて深く考えさせられました。村林議員のもとに寄せられる住民の意見や要望を一つ一つファイリングし解決に取り組んでいる姿も、少しでも良い地域にしようという気持ちの表れだったように思います。南伊勢にゆかりのある人が住みやすい地域づくり・南伊勢を誇りに思えるような地域づくりが今の南伊勢を支えていることを学びました。

2. 自分自身の振り返り

2. 説明文

自分が思い描いたなりたい姿に近づくことができましたか？ 近づけたのなら、今後新たななりたい姿を見つけた時、達成する秘訣はないでしょうか？ 近づけなかったのなら、いつ何をしていけば近づけたと思いますか？

今後自分が出会う様々な出来事に備えて、今回の取り組みを振り返りましょう。

1. 以下の3つについて、具体的に記入しましょう。

なりたい姿/身に付けたい力/達成計画

2. 上に書いた3つの振り返りを行いましょう。

■達成計画を踏まえた身に付けたい力の習得率とその理由

評価（習得率の％を記入）と理由を含め反省事項を記入しましょう。

■なりたい姿に近づけたかどうか

評価（達成度の％を記入）と理由を含め反省事項を記入しましょう。

3. インターンシップ参加前と今の自分の変化

2. 記述欄

私のなりたい姿とは、主体性をもって行動できるような姿でした。そのためには、積極性を身に付けたいと考えていました。まずあった方々に自ら積極的にあいさつ・名刺交換をしに行くこと、そして村林議員や秘書の方に積極的に質問することを達成計画として挙げていました。達成計画を踏まえた身に付けた位置からの習得率は、70%ほどのように感じます。あいさつはどんな時も積極的にできていたと思いますが、名刺交換についてはタイミングがなかなかつかめなかったことと、一日目にたくさんの方と交換できたのは良かったが誰と交換したのか整理できなかったことを反省しています。また、なりたい姿に近づけたかどうかの達成度は65%ほどだと思っています。インターンシップでは主体性をもって行動できるようになったというよりも、TPOに応じて行動パターンを変えられる力がついたかなと思います。しかしそれも主体性をもって行動するための通過点だと考えているので、これからもいろんな経験を積む中でなりたい姿に近づけられれば良いと思っています。

3. あなたにとって議員インターンシップとは

3. 説明文

人生、大学生活において議員インターンシップは自分にとってどのような経験だったのか。インターンシップ活動で、何を学び、何を考え、どのように行動をしたのか。

そして、今後生活していく上で、インターンシップの経験をどのように繋げるかを考えまし

よう。

【この項目の狙い】

何事も、ただただ経験するだけでは学びが最大化されません。

大切なのは、自分が経験したことを振り返る(内省する)ことです。

自分の言葉で、議員インターンシップ全体を総合的に振り返ることを狙いとしています。

3. 記述欄

村林議員のもとでのインターンシップは、私にとって地域の役割や大切さを考え直すきっかけとなった良い経験となりました。特に人口流出や南伊勢高校に対する取り組みについては、村林議員の地域への想いも大きく、小規模でも存続させることの重要性を身をもって感じたインターンシップでした。また、議会傍聴や南伊勢高校への訪問・南伊勢の企業への訪問、南伊勢の外回り、選挙活動見学など様々な経験をし、様々な人々と交流する中で、TPOに応じた行動ができるようになったようにも思います。これからはこのインターンシップで学んだことを日々の生活の中でさらに深いものにし、将来就職を決めるとき、またその就職先でも地域と関わる場合に役立てていけたらいいなと思います。

4. もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

4. 説明文

インターンシップを通して様々なことを学び、発見があったと思います。

もしインターンシップに行った先で新しいことを始めるとしたら、どんなことがしたいですか？

この「プロジェクト」というのは、政策でもイベントでも特産品に関することでも、何でもOKです。

皆さんの自由な発想で考えてみてください。

4. 記述欄

もしインターンシップ先の地域で何かプロジェクトを行うことになったら、南伊勢高校の南勢校舎で行っていたSBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)を南伊勢全体で行えるようにしたいと思います。特に小学校や中学校にも導入することで、地域活性化における知識を早い段階で養うことができます。また、それが南伊勢高校で学ぶことの土台にもなることで、南伊勢高校に通いたいと思う小中学生が増えるのではないかと考えました。村林議員

が人口流出や小規模高校について「外部から人を呼び込むよりも、南伊勢にゆかりのある人が外へ出ていかななくてもいいようにしたい」考えていたように、小中学生のうちから今までよりも地域に深く関わることで、南伊勢に残りたい若者も増えるのではないかと思います。